

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2020年度

卒業論文題目	指導教員
計量テキスト分析による日本軍歌の考察	平田雅己
「～して（いる/…する）」の in 前置詞句と類訳表現の考察 —[in vN] vs.[V-ing], [adjly], [vV and]—	日木満
宮崎駿監督作品における男の成長 —『ハウルの動く城』をめぐって—	川本徹
日本文化の型の現代の在り方 —新型コロナウイルスに対する日本人の行動を探る—	やまだあつし
Effects of E-Tandem Exchanges on Japanese-Speaking Students' Confidence in Communicating in a Second Language	阪井芳貴
多文化時代の生活保護制度	山本明代
Effects of Audience on Changes in L2 Learners' Preferences regarding Written Error Correction : The Case of Japanese Learners of English	阪井芳貴
コミック『ピーナッツ』にみるTHIS/THATの世界 見かけ上「話者の近くにある物を指すTHAT」「話者から離れた物を指すTHIS」について	日木満
Relationships between L2 Students' Preference for Error Correction and Types of Error Corrections Received in E-Tandem Exchanges in English and Japanese as Second Languages (英語と日本語の e-tandem 学習における第二言語学習者の文法的エラー訂正の好みと実際の訂正の関係性)	市川哲
モントリオールのユダヤコミュニティにおける新しいエスニックツーリズムの形態	市川哲
日本の大学キャンパスにおける外国人留学生と日本人の関係性についての考察 —ゲオルク・ジンメル社会学をもとに	榎木美樹
イギリス労働者階級の現状と EU 離脱	山本明代
映画衣装論 —『ロミオ+ジュリエット』を読む—	川本徹
黒人と白人のメガチャーチ —成り立ちやミッション・サービスの分析を通じて—	松本佐保
差異化から見えるアイデンティティの考察 ～バックパッカー経験を通してのアイデンティティ確立とは～	榎木美樹
グローバル化が進む今後の日本におけるシティズンシップ教育のあり方	山本明代
日本人大学生の幸福度を上げる要因 -大学生の主観的幸福度と学生生活の活動内容との関連性から	阪井芳貴
日本の外国人単純労働者とそれに伴う移民・外国人受け入れについて	やまだあつし
ハーマイオニーからフェミニストヘーエマ・ワトソン、映画、社会文化論—	川本徹
2020 年の名古屋ベトナム料理店・食材店に見る言語景観の様相	佐野直子
ポーランドにおけるユダヤ人社会の形成 ～ポーランド・ユダヤ人の社会的境遇と戦後の反セミティズム～	松本佐保
江戸後期から明治初期の視覚的メディアを通じた政治風刺	アトブレカステリョーニ
基本動詞(GIVE/TAKE/MAKE)のコアイメージ再考 -第2のコアから根源的イメージへの展開-	日木満
ヨーロッパにおける移民・難民問題 ～過去と現在、コロナ禍の今後を見据えて～	松本佐保
A New Star Is Born: Music Genre and Gender in A Star Is Born (2018)	川本徹
イギリス紅茶文化の衰退と再興 ～飲料文化に見るグローバルとナショナルのせめぎ合い～	市川哲
[感情形容詞 + to不定詞]における動詞のアスペクト解釈のメカニズム	日木満
おつまみ缶詰の世界 ～おつまみ缶詰はなぜヒット商品となることができたのか～	やまだあつし
接続詞の用法イメージの図式化 when, but, while, as	日木満
二・二六事件後の陸軍政治介入 —軍部大臣現役武官制復活を中心に—	平田雅己
21世紀の日本のサブカルとクトゥルフ神話 --『デモンベイン』から『映画ドラえもん』まで--	川本徹
「BのA」の英訳 —「ベニスの商人」と「パリのアメリカ人」—	日木満
教育における多様性理論の意義と課題 —アメリカにおけるアフアーマティブ・アクションの社会的影響—	松本佐保
タイ・ビルマ国境地帯における山岳少数民族のキリスト教研究 —宗教合理化論と土着化論の検討を中心に—	市川哲
現代におけるカフェの特徴と存在意義 —サードプレイスの概念と歴史的整理をもとに考察する	やまだあつし
中途障害者の肯定的な自己像形成のためにどのような支援をすべきか —「価値の転換」との関連から—	榎木美樹
1950・1960年代台湾の経済発展と民主化の遅れ	やまだあつし
沖縄世界遺産としての首里城の現在と今後	阪井芳貴
ドイツ統一と東西格差	松本佐保
ヒップホップからみる「リアル」 男らしさ/女らしさという呪縛からの解放—自分らしさへ—	松本佐保
日本における重国籍のあり方	山本明代
日本の性教育はどう変革すべきか	山本明代
シャルリ・エブド事件からみるフランスの移民統合	山本明代
キャラクタービジネス戦略 -中部国際空港オリジナルキャラクター「セントレアフレンズ」を事例として-	やまだあつし
地域コミュニティにおける青年活動の変遷とその意義	阪井芳貴
外国人介護労働者に対する日本語教育	山本明代
八重山ミンサーの事例から考える伝統の継承について	阪井芳貴
世界遺産の登録後の持続可能な活用方法 富岡製糸場を事例にして	やまだあつし
同一労働同一賃金から見る日本企業の課題	やまだあつし
母性保護論争における母としての平塚らいてう	平田雅己

卒業論文題目	指導教員
当事者視点から考える現代宗教と宗教ツーリズム ―現代日本の多様なおみくじを事例に―	市川哲
中近世の賤民と被差別部落の歴史	アンドレアステイヨニコ
Effects of Enforcement on L2 English Learners' Enjoyment and Improvement in Speaking Ability	阪井芳貴
近代性と日本仏教	アンドレアステイヨニコ
ピースおおさかりニューアル問題に関する一考察	平田雅己
Effects of Speaking Exchanges on L2 English Learner's Ideal L2 Self and International Posture (英会話学習が英語学習者の第二言語を使用する理想自己および国際的指向性へ与える影響)	阪井芳貴
be動詞+aの意味を持つ動詞 ―イメージの違いで選ぶLIE系, REMAIN系, SEEM系―	日木満
日本の現状から見える問題と課題 ―「慰安婦」問題における二つの論争を事例に―	平田雅己
know を使い切る為の語法研究 ～「know=知っている」を超えて～	日木満
ミニマリズムの起源とゆくえ アメリカ消費社会における実践の系譜	川本徹
他者との相互関係による民族アイデンティティの変容 ―日系ブラジル人を事例に―	市川哲
Effects of Enforcement on the Frequency of Japanese Students Taking L2 Online English Speaking Lessons, English Speaking Ability Development, and Quality of Preparation and Review for Lessons (英語を第二言語として学習する日本人学生のオンライン英会話授業における強制力の影響：使用頻度・英語スピーキング力の向上・英語学習の質から比較)	阪井芳貴
失踪と制度内容から考える技能実習制度の問題点	山本明代
ロヒンギャ難民の帰還促進政策 ―自発的帰還の実現に向けて―	山本明代
ディズニー・テーマパークとグローカリゼーション ～変容するアメリカのディズニー・テーマパーク～	市川哲
日本における刀剣の神聖について ―文化の継承と神聖性―	吉田一彦
デジタルゲームにおけるプレイヤーキャラクター描写の変遷	川本徹
日本における伝統化粧文化の形成 ―何のために化粧するのか―	吉田一彦
丸木夫妻と『原爆の図』 ―戦争観の変遷を中心に―	平田雅己
外国人観光客の災害時避難 ―名古屋市における避難誘導と避難所運営のあるべき姿―	山本明代
メトロリンガリズムから見る家庭内の言語使用	佐野直子
観光業におけるファンツーリズムの可能性	やまだあつし
ティム・バートン映画を彩る音楽 ―ダニー・エルフマン論―	川本徹
南京事件に関する中学歴史教科書の記述分析 ～1990年代以降を中心に～	平田雅己
アイドルおたくコミュニティにおけるアイドルおたくの言語使用 ―コミュニティと言語使用の双方向性―	佐野直子
副詞的に訳してしまう3表現の研究：「素直な-ly副詞」、「副詞的at前置詞句」、「非副詞的in前置詞句」	日木満
日本における「雅楽」の受容と意義 ―平安時代を中心に―	吉田一彦
Effects of Enforcement on Correlations between Big Five Personality Traits and L2 English Language Proficiency	阪井芳貴
障害者の活躍できる社会の構築 ―労働を通じた自立の達成と合理的配慮―	山本明代
日本における美容整形の普及の経緯 ―日本とアメリカにおける美容外科の歴史を中心に―	松本佐保
『ラヴ・ネヴァー・ダイズ』論 ―『オペラ座の怪人』の続編をめぐって―	川本徹
知的財産権侵害とその対策	やまだあつし
多文化時代の言語教育 ―日本における母語教育制度化に向けて―	山本明代
SEALDs に関する一考察 ―メンバーの発言から読み解く SEALDs の思想―	平田雅己
グローバル化時代のファンタジー文学 『ハリー・ポッター』シリーズ	松本佐保
日本企業における女性リーダーの活躍推進 ―ジェンダー意識に着目して―	山本明代
伝統産業の生き残りの方策 ―イノベーション戦略事例を基とした考察―	榎木美樹
文学作品から読み取る黒人女性への差別 ―トニ・モリスンやキャスリン・ストケットを中心に―	平田雅己
日本におけるパートナーシップ制度導入に関する一考察 ―東京都渋谷区と世田谷区の事例を中心に―	平田雅己